マーノ エ マーノ

A 型

MPN-578/MPN-518

取扱説明書

品質保証書付

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、本書は大切に保管してください。取りはずしてある部品は、本書をよく読んで取り付けてください。本品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。

安全基準A型
(2ヵ月～2才まで)

目次

ご使用の前に

- ●この製品は、一般家庭で乳幼児を乗せ、外気浴、日光浴、買い物などに使用するための一人乗り乳母車（ベビーカー）です。
- ●対象年齢:生後２ヵ月以上満２才まで
- ●望ましい連続使用時間:２時間以内
- ●組み立てる前に、14ページ「品質保証書」に次の項目を記入してください。
  - ・ロットNo.（背もたれ後側に貼ってあるシールに記載されています。）
  - ・お客様のお名前・ご住所・電話番号
  - ・販売店名

安全にお使いいただくために

- ●製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよび保護者の方が重大な損害を被る恐れがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。
- ●注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いの結果生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

⚠ 警　告　取り扱いを誤ると重大な

乳幼児が落ちたりベビーカーが折りたたまれる恐れがあります。

●開閉およびハンドル切り替えのロックが確実にかかっていること（ベビーカーが完全に開いた状態であるか）を確認してから使用してください。

●ロックがかかっている
開閉ロックが下がって
間に空きがない

●ロックがかかっていない
開閉ロックが上がって
間に空きがある

●乳幼児を乗せたままフロントガードを持つなどしてベビーカーを持ち上げないでください。手がすべったり、フロントガードがはずれたりする恐れがあります。

●階段、エスカレーター、段差のあるところ、また、砂場/砂浜/河原/ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。

●破損/異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。当社お客様相談室にご連絡ください。

乳幼児が落ちる恐れがあります。

●股ベルト・腰ベルトを必ず締めて使用してください。

●乳幼児をベビーカーの中で立たせないでください。

警告	誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。
注意	誤った取り扱いをすると人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

⚠	警告／注意を促す内容があることを告げるものです。
⊘	禁止の行為であることを告げるものです。

事故につながる恐れがあります。

ベビーカーが転倒して乳幼児が落ちる恐れがあります。

●乳幼児を乗せているとき、カゴ以外の所に荷物を乗せたり、つるしたりしないでください。

●ベビーカーに同時に二人以上の乳幼児を乗せたり、乳幼児をシート以外の所に乗せないでください。

●ご使用中にハンドルによりかかったり、過度の荷重をかけないでください。

ベビーカーが動き出したり転倒する恐れがあります。

●乳幼児や荷物を乗せたときには、ストッパーを過信しないでください。

●乳幼児を乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。

●ベビーカーは空車であっても坂の途中／車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。

安全にお使いいただくために

⚠ 注 意　取り扱いを誤ると障害を負ったり、ベビーカーが破損する恐れがあります。

●シートを取りはずしたまま乳幼児を乗せないでください。
すき間に手や足などをはさむ恐れがあります。
●幼児、子供にベビーカーを操作させないでください。
転倒や思わぬ事故につながります。
●ベビーカーの開閉やリクライニング操作時には、他人や小さい子供を近づけずに行ってください。
指をはさんだりする恐れがあります。
●乳幼児の乗車時はもちろん空車であってもフロントガードを持って持ち運ばないでください。
ベビーカーが急に折りたたまれたり、フロントガードがはずれたり、手がすべって落下する恐れがあります。
●フロントガードを引っぱって使用したり、ふりまわしたりしないでください。
破損の恐れがあります。
●フロントガードには過度の力を加えないでください。また必要以上に広げたりしないでください。
●乳幼児を乗せる以外の目的で使用しないでください。
目的外の使用では破損などの恐れがあります。
●ベビーカーに大人が腰かけたり、過度の荷重を加えないでください。
破損、故障の原因となります。
●ベビーカーを押すときは歩いてください。
走るとキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながる恐れがあります。
●買い物カゴには5kg以上の荷物を入れないでください。破損の原因となります。
●踏切を渡るときは、できるだけ線路に直角に進んでください。
ななめに渡ると車輪をとられたり、線路の溝に車輪がはさまる恐れがあります。
●雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。
ベビーカーだけでなく保護者も転倒する恐れがあります。
●風の強いときには使用しないでください。
勝手に動き出したり、転倒する恐れがあります。
●雷のときは使用しないでください。
落雷の恐れがあります。
●火の近くや高温になる場所での放置、保管は避けてください。
故障や変形の原因となります。
●ベビーカー本体の上に荷物などを重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。
故障や変形の原因となります。
●危険ですからむやみに改造、分解をしないでください。
●乳幼児を乗せたとき、シートベルトがバックルに装着され、ベルトにゆるみがないことを確認してください。
乳幼児が抜けだしたり、落下する恐れがあります。
●ご使用の前に、ネジやナットにゆるみがないか確認してください。
ゆるみがある場合は使用せず、必ず当社お客様相談室にご連絡ください。重大な事故につながる恐れがあります。

（開封されましたら、部品がそろっているかご確認ください。）

各部の名前（取りはずしてある部品は本文をよく読んで取り付けてください。）

手元ロックボタンについて

警告

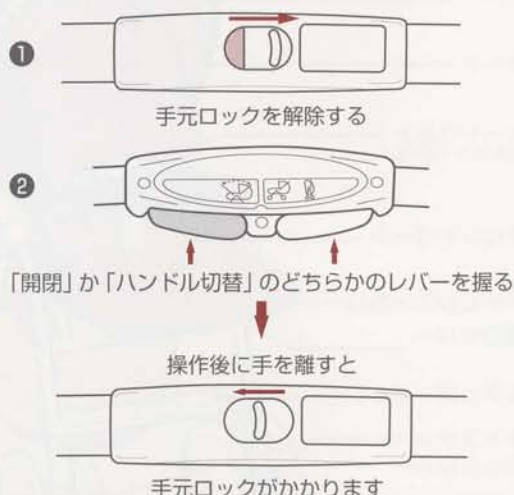
●ベビーカーを使用するときはかならずロックされていることを確認してください。ロックが解除の状態で使用しますと、急に折りたたまれたり、ハンドルが動いてしまう恐れがあります。
●同時に二つのレバーを握らないでください。転倒の原因となります。

注意

●手元ロックがかかったままレバーを握らないでください。故障の原因となります。

ベビーカーの「開閉」操作と「ハンドル切り替え」操作のしかた

❶ハンドル中央部上面の「手元ロックボタン」をずらして、ロックを解除します。(「ロック解除」の赤いステッカーが表示されます。)
❷レバーを握って操作します。

- 操作が終わり、レバーから手を離すと、自動的に「手元ロックボタン」が元の位置に戻り、ロックがかかります。
- レバーを間違えて握ったときは、いったんレバーから手を離し❶からやり直してください。

開きかた

警告

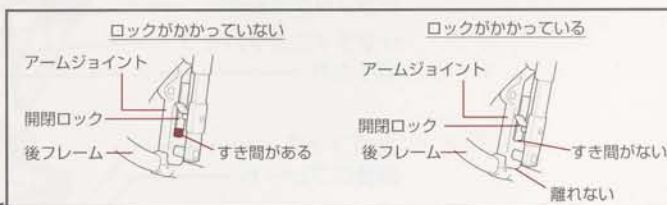
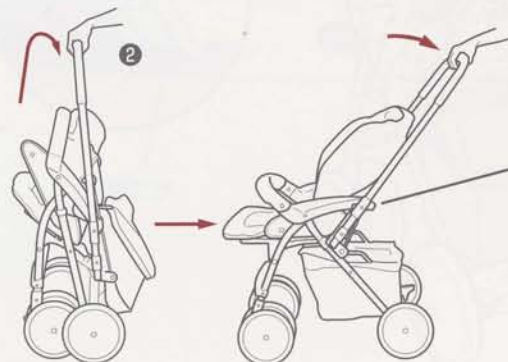
●ベビーカーを使用するときはかならずロックされていることを確認してください。ロックが解除の状態で使用しますと、急に折りたたまれたり、ハンドルが動いてしまう恐れがあります。

注意

●ベビーカーを開くときには他人に触らせないでください。手をはさむ恐れがあります。
●子供ベビーカーをに操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながる恐れがあります。

❶ベビーカーの後ろに立って、ハンドル中央部の手元ロックボタンを右にずらします。赤いステッカーが表示されロックが解除されます。
❷白い開閉レバーを握りながら、ハンドルを持ち上げるようにするか、アームレストの先端を下に押し下げるようにすると開きます。

ロックがかかっていない
アームジョイント
開閉ロック
後フレーム
すき間がある

ロックがかかっている
アームジョイント
開閉ロック
後フレーム
すき間がない
離れない

開き終わって開閉レバーから手を離した後、次の点を確認してください。
●手元ロックボタンが元の位置にもどっている。
●左右の開閉ロックが完全に下まで降りている。
●ハンドルを持ち上げたときに、アームジョイントと後フレームが離れない。

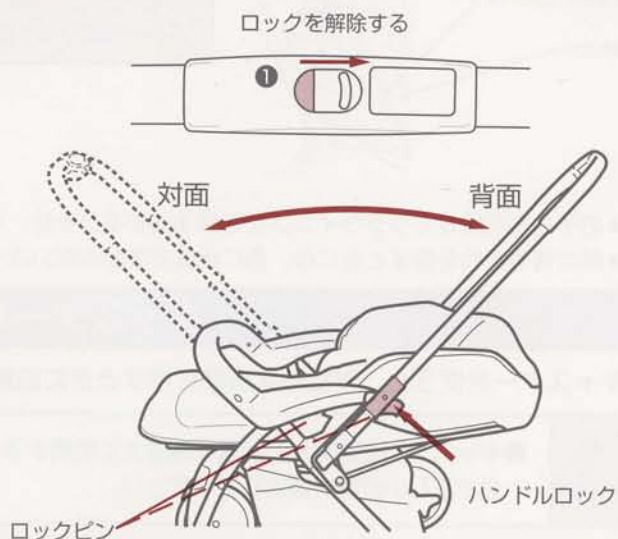
ハンドルの切り替えかた

注意

●手元ロックボタンとハンドルロックがかかっていないときは使用しないでください。急にハンドルが切り替わる恐れがあります。
●お子さまがアームレストに手をかけているときハンドルを切り替えますと手や指をはさむ恐れがあります。必ず手をかけていないことを確認してください。
●危険ですからベビーカーを押しながらハンドル切り替え操作をしないでください。

❶ハンドル中央部の手元ロックボタンをずらします。赤いステッカーが表示され、ロックが解除されます。
❷ハンドル切り替えレバー（グレー）を握りながら、ハンドルの向きをかえます。

ハンドル切り替えレバーから手を離した後、次の点を確認してください。

- 手元ロックボタンが元の位置にもどっている。
- 左右のハンドルロックがロックピンにかかっている。
- ハンドルを上下させても動かない。

アームレストカバーの使いかた

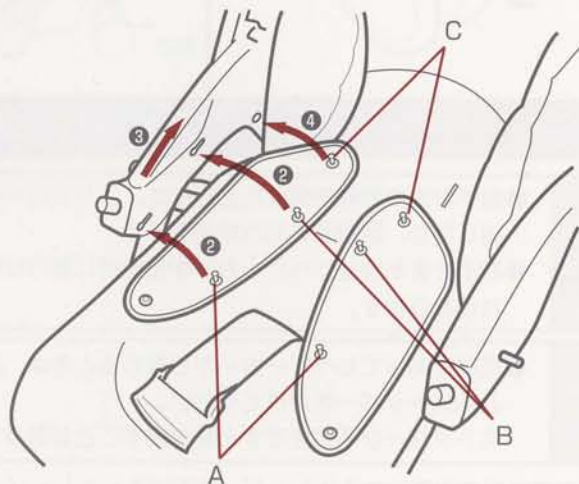
注意

●アームレストカバーを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足をはさむ恐れがあります。
●やぶれやほつれの発生したアームレストカバーはそのまま使用しないでください。中のウレタンをお子さまが飲み込む恐れがあります。

取りはずしかた

❶Cの突起をはずします。
❷アームレストカバーを前方にずらします。
❸A/B2つの「突起」をはずします。

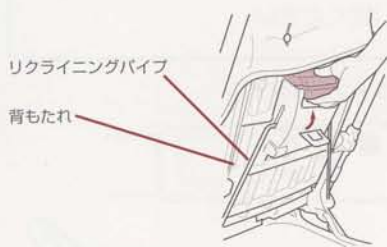
取り付けかた

背もたれをいちばん倒した角度にします。
❶イラストを参考に、アームレストカバーの左右を確認します。
❷A/B2つの「突起」をアームレスト前側の穴2ヵ所にそれぞれ差し込みます。
❸アームレストカバーを後方にずらします。
❹Cの突起をアームレストにとめます。

ゆっくり背もたれを上げ、背もたれの側面に引っかからないことを確認してください。

リクライニングの使いかた

注意

●危険ですからベビーカーを押しながら操作しないでください。
●リクライニングパイプと背もたれの間に指をはさまないよう十分ご注意ください。

リクライニングレバーを指で起こしながら、背もたれの角度を変えます。角度調節は３段階です。

※お子さまを乗せたまま、リクライニング操作をするときには、背もたれを少し押し上げながらレバーを握ってください。

- お子さまを乗せてリクライニングを操作をするときは、できるだけゆっくりと静かに行ってください。
- 特に背もたれを倒すときには、急に角度が変わらないように十分ご注意ください。

キャスターの使いかた

キャスターを使うと、平たんな路面を押すときに前輪の向きが変わり、スムーズに方向転換できます。

注意

●キャスターを固定する位置を間違えて使用すると、押しづらいだけでなく故障の原因となります。
必ず正しい位置で固定してください。

キャスターを使用する場合

キャスターロックレバーを下げ、ロックを解除します。

キャスターを使用しない場合

坂道や凹凸のある路面を押すときは、左右のキャスターロックレバーを上げて固定します。

固定する車輪位置は対面と背面では違います。ご注意ください。
ベビーカーを折りたたむときは、左のイラストの位置にしてください。

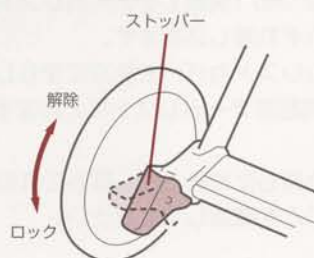
ストッパーの使いかた

警告

●お子さまや荷物を乗せたときには、ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけても動き出したり、転倒する恐れがあります。
●お子さまを乗せたベビーカーから絶対に離れないでください。ベビーカーが動き出したり転倒する恐れがあります。

注意

●空車であってもベビーカーから離れるときは、必ず左右ともストッパーをかけてくだい。
ストッパーが不完全ですと動き出すことがあります。

- 左右の後輪の内側にあるストッパーを下げるとストッパーのロックがかかります。ベビーカーを軽く前後に動かしてストッパーが正しくかかっているか確認してください。
- 解除するときはストッパーを上げてください。

フロントガードの使いかた

フロントガードを開くとお子さまの足が引っかからず、乗せ降ろしが楽にできます。

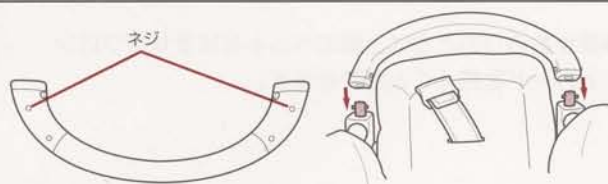
警告

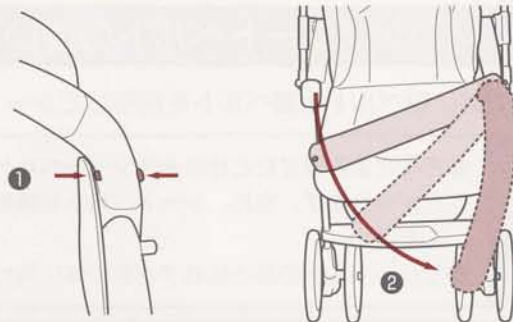
●フロントガードに関係なくお子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。
フロントガードは抜け出しや立ち上がりを防ぐものではありません。

注意

●フロントガードが確実にロックされたか必ず確認してください。ロックが不完全ですと使用中に開いてしまう恐れがあります。
●お子さまの乗せ降ろし時以外は、必ずフロントガードは閉じてください。すき間に手を入れると危険です。また、破損の原因ともなります。
●フロントガードをつかんで持ち運ぶことは、お子さまを乗せているときはもちろん、空車のときであっても絶対にしないでください。手がすべったり、フロントガードがはずれたりすると危険です。

フロントガードの取り付けかた

●フロントガードは、ネジが見えるほうを下にしてアームレスト先端の突起に差し込みます。
●確実に固定されたか引っぱって確認してください。

フロントガードの取りはずしかた

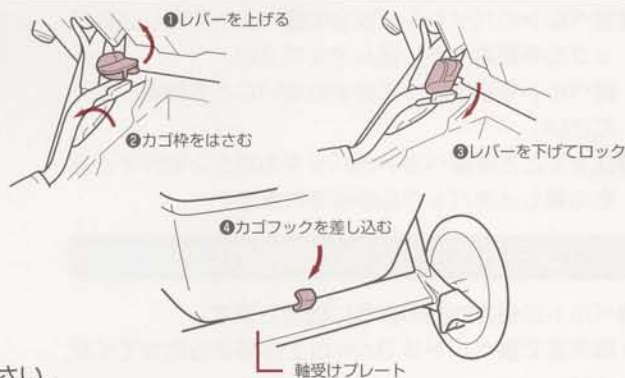
❶フロントガード端の外側と内側2つのガードボタンを同時に押し、アームレストからフロントガードを引き抜きます。
❷フロントガードを持って、下に降ろします。

買い物カゴの使いかた

注意

● 5kg 以上の荷物は載せないでください。路面と接触して破損の原因となります。
●角のとがったものは載せないでください。カゴ底面部の破れの原因となります。

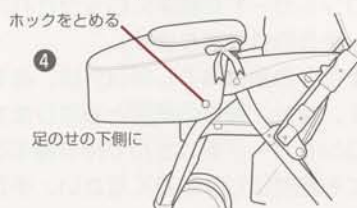
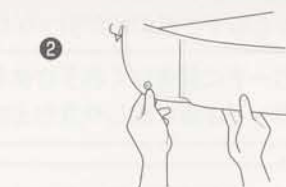
買い物カゴの取り付け、取りはずしかた

❶座面の下のカゴ取り付けホルダーのレバーを上げ、❷カゴ枠をはさみこんだ後、❸レバーを下げてロックします。❹カゴフックを軸受けプレートの穴に差し込みます。(カゴフックのある側が後ろです。)
●取りはずすときは、取り付けの逆の手順です。

❶レバーを上げる
❷カゴ枠をはさむ
❸レバーを下げてロック
❹カゴフックを差し込む
軸受けプレート

荷物について

●荷物を入れて持ち運ぶときは、カゴ枠を持ってください。
●できるだけカゴ底に均等に荷重が加わるようにのせてください。リクライニング操作に支障のない高さにしてください。
●ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因になりますから、折りたたむときには荷物を取り出すか、買い物カゴごと取りはずしてください。

足カバーの使いかた

❶足のせを引き出し、シートのホックをとめてください。
❷付属の足カバー内張りを足カバーの裏にある左右のポケットへ取り付けます。
❸足カバー上面の裏側に付いている長いほうのベルトをフロントガードの下側から巻き付け、マジックテープでとめてください。
❹足カバー両側面のホックとアームレストカバーのホックをとめてください。
• 足カバーの底面は使用時常に足のせの下側になるようセットしてください。

●乗せおろしのときは上面のベルトをはずせばフロントガードを開くことができます。

シートベルトの使いかた（股ベルト・腰ベルトの調節）

ここでは、股ベルトと腰ベルトを総称してシートベルトと呼びます。

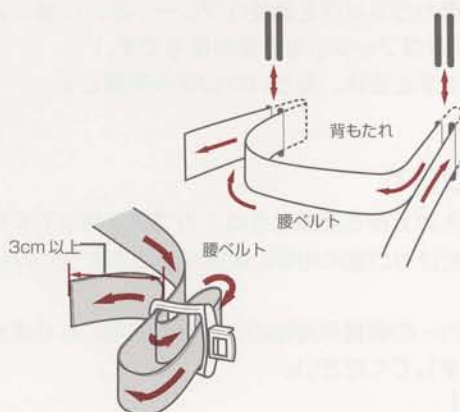
⚠警告	●お子さまを乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せるとお子さまが落ちる恐れがあります。また、シートベルトを締めていても、万一の抜けだし、立ち上がりには十分注意してください。 ●シートベルトの長さはお子さまの体に合わせて調節し、しっかりと締めてください。

⚠注意	●ベビーカーを開くときには他人に触らせないでください。手をはさむ恐れがあります。 ●子供にベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながる恐れがあります。

シートベルトの締めかた、はずしかた

●股ベルトのバックルに左右の腰ベルトの差し込みバックルを確実に差し込んでください。
腰ベルトを引っぱってはずれないことを確認してください。
●はずすときは股ベルトのバックルボタンを押すと左右の差し込みバックルがはずれます。

シートベルトの長さ調節のしかた

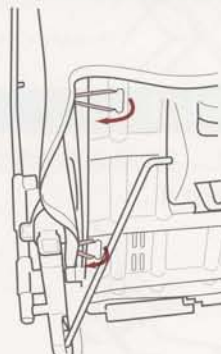
●ベルトの長さは図のように調節します。
• 端末まで腰ベルトは3cm以上余裕をもたせてください。
• 長さ調節のときに腰ベルトのバックルを取りはずした場合は、右図にしたがって確実に取り付けてください。取り付けかたが異なると使用中ベルトが抜ける恐れがあります。

シートおよび衝撃吸収マットの取り扱いかた

衝撃吸収マットは、走行中の揺れからお子さまを守ります。マット頭部には段差などによる衝撃をやわらげる"超衝撃吸収パッド"が付いています。

注意

- シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足をはさむ恐れがあります。
- やぶれやほつれの発生したシートはそのまま使用しないでください。中のワタをお子さまが飲み込んだり、シート本来の機能が果たせなくなる恐れがあります。
- シートを取り付ける際に、ゴムベルト、ホック類を確実にセットしてください。取り付けが不完全ですとケガや破れなどの原因となります。

シートおよび衝撃吸収マットの取りはずしかた

❶足のせを使っている場合は、シート前端のホックをはずしておきます。
❷背もたれ裏側のフックにかけてある左右のゴムベルトをはずします。
❸シートベルトをベルト通し穴から抜き取ればシートは取りはずせます。バックルやホックが通し穴に引っかかることがありますから、丁寧に扱ってください。
❹衝撃吸収マットは、シートベルトを抜き取り、左右のゴムベルトをはずします。

超衝撃吸収パッドの取り付けかた

❶『超衝撃吸収パッド』は、シートの下に付いています。
洗濯などで取り外した際は、衝撃吸収マットのへこみに合わせて取り付けてからご使用ください。

衝撃吸収マット
※左右のゴムベルトをフックにかけてご使用ください。

超衝撃吸収パッド

注意：洗濯の際は、『超衝撃吸収パッド』を取り外してください。
『超衝撃吸収パッド』は洗濯できません。

シートおよび衝撃吸収マットの取り付けかた

❶背もたれをいちばん倒して、衝撃吸収マットをのせ、 腰ベルトと股ベルトを通し、左右のゴムベルトをフックにかけます。
❷シートをのせ、腰ベルトと股ベルトを通します。
❸背もたれを起こし、計６本のゴムベルトを裏側の両側面計４ヵ所のフックにかけます。

注意：シートは洗濯機で丸洗いができます。洗濯方法は13ページをご覧ください。
『衝撃吸収マット』は手で押し洗いしてください。
『超衝撃吸収パッド』は洗濯できません。

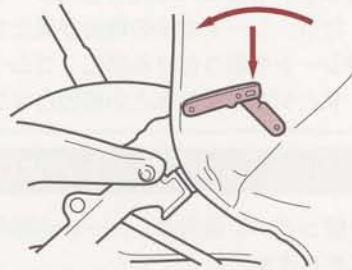
- 衝撃吸収マットは取り付けなくてもご使用になれますが、シートは必ず取り付けてご使用ください。
- 衝撃吸収マットは必ずシートの下に敷き、ゴムベルトをとめてください。

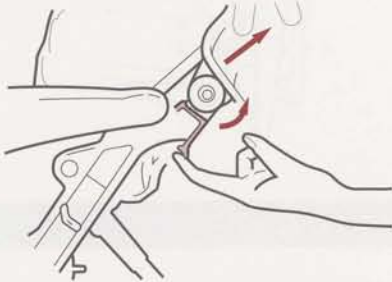
日除けの使いかた

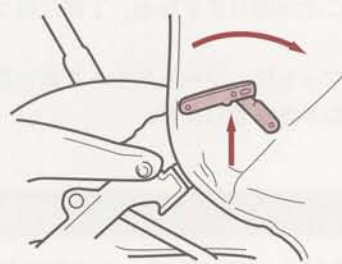
取り付けかた

日除けの差し込み部分を、アームジョイント上部の穴に差し込みます。ツメがかかって固定されます。後ろのホック2個を背もたれ後部の生地のスリット（穴）を通してとめます。

広げかた

2本のステーを持ってひろげ、左右の日除けレバーの関節部を押し下げロックします。

取りはずしかた

後ろのホックをはずし、差し込み部分のツメを指ではずしながら、引き抜きます。

たたみかた

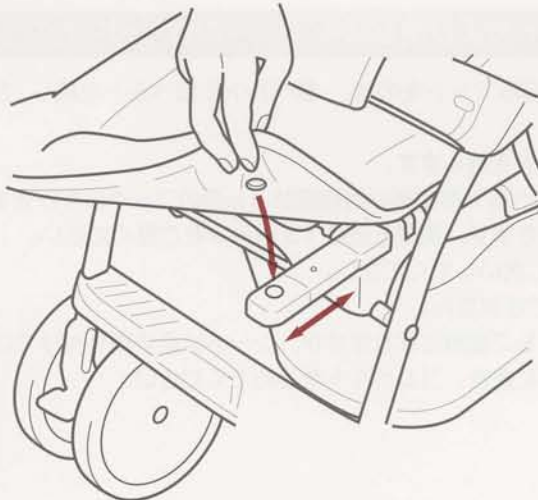
日除けレバーの関節部を下から押し上げてから、たたみます。

- 日除けは一番前までは倒れません。無理に倒すとはずれたり、破れたりする恐れがあります。

足のせの使いかた

足のせを出していると、お子さまが寝たとき、楽な姿勢で眠れます。

❶シートを持ち上げ、座面にある足のせバーを前端で止まるまで引き出します。

❷シートをのせ必ずホックをとめます。

- 使用しないときは、シートのホックをはずし、足のせバーを座面の中に押し込みます。

折りたたみかた

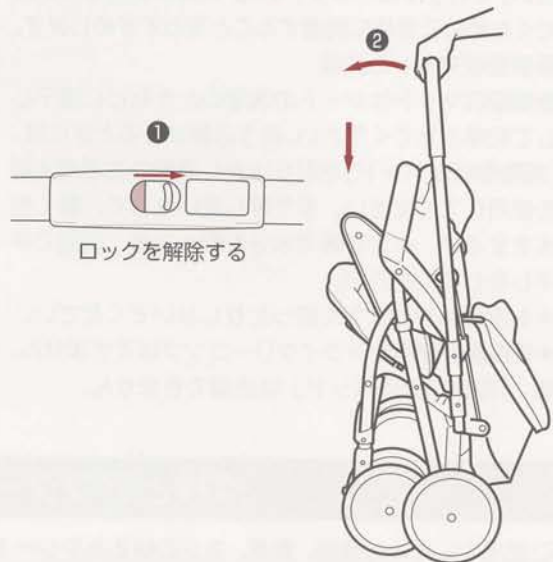
注意

●手元ロックボタンと開閉ロックがかかっていないときはそのまま持ち運ばないでください。急に開いてしまう恐れがあります。
●引っかかりや、はさみ込みなどを感じたら、いったん開いて原因を確認してください。無理に折りたたむと破損する恐れがあります。

折りたたむ前に下記の操作を行ってください。

折りたたみかた

ベビーカーの後ろに立って、❶ハンドル中央部の手元ロックボタンを右にずらしてロックを解除します。（赤いステッカーが表示されます。）
❷白い開閉レバーを握り、ハンドルを前方向に軽く持ち上げるようにしながら、前輪を支点にして矢印の方向に力を加えると折りたためます。

- スムーズに折りたためないときは、車体にシートやシートベルトなどがはさみ込まれていることが考えられます。無理に力を加えず、いったん開き、はさみ込んでいる物をはずしてください。開閉レバーから手を離した後、手元ロックボタンが元の位置に戻っているか（開かない状態になっているか）をハンドルを持ち上げて確認してください。

保管のしかた

注意

●火の近くや夏期の車内など高温になる場所での保管は避けてください。故障や変形の原因となります。
●荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

●直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりのかからない場所に立てて保管してください。屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。オプション品として収納カバーがあります（裏表紙をご覧ください）。
●車のトランクに入れて運ぶ場合は、買い物カゴを下にして寝かせてください。

日常のお手入れ

縫製品の洗濯について

●シートの洗濯

シートは手洗いしてください。取りはずしかたは10ページをご覧ください。

- 長時間つけ置きせず、短時間で洗い上げてください。色落ちの原因となります。
- 十分すすぎ、軽く脱水したあと、形を整えて平干ししてください。
- 洗濯機、乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。

●日除け、腰ベルト、足カバーの洗濯

- 30℃以下の液温で、ブラシまたはスポンジで軽く洗ってください。
- 通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きもよくお読みください。
- よくすすいだ後、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。

※製品の特性上若干色あせすることがあります。

※洗濯の際は天然脂肪酸をベースとした、蛍光剤、漂白剤、酵素などを含まない「コンビ　おむつ・肌着洗い」をおすすめします。また、快適に使用していただくためにこまめに洗濯することをおすすめします。

●衝撃吸収マットの洗濯

衝撃吸収マットはシートの洗濯のときなどに陰干しして乾燥させてください。洗う必要があるときには、「超衝撃吸収パッド」を取りはずし通常の洗濯用洗剤を使用してください。手で押し洗いをして、軽く脱水をするか、タオル等で水分を取った後、日陰で平干しをしてください。

- もみ洗いや、きつく絞ったりしないでください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。

注意：「超衝撃吸収パッド」は洗濯できません。

車体の清掃について

注意

●車体の清掃には中性洗剤以外は使用しないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

●車輪やプラスチック部品および金属の汚れは、水を含ませよく絞った布でふき取ります。汚れがひどいときは薄めた中性洗剤を含んだ布でふいた後、水を含ませよく絞った布で数回ふき取り、洗剤分が残らないようにします。

注油について

注意

●お子さまがなめる可能性の高いフロントガード、アームレストなどには油が付着しないようご注意ください。

●きしみ音が発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油を少量お使いください。多すぎるとほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。注油する部分の泥や汚れはあらかじめよくふき取ってください。

※下のイラストの部分には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。

点検とアフターサービスについて

●ご使用中に車体の破損、異常、ネジのゆるみやシートおよびシートベルトに破れ・ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、ただちに使用を中止して当社お客様相談室（本書裏表紙に連絡先記載）にご連絡ください。そのまま使用しますと、重大な事故につながる恐れがあります。お問い合わせの際は、背もたれ後側に貼ってあるシールをご覧になって機種名をお知らせください。

●ネジ類のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか適宜点検してください。

●危険ですみからむやみに改造や分解はしないでください。

●お手入れの際に取りはずした部品は、本書をよく読み正しく取り付けてください。取りはずしたままですとお子さまが危険です。

●本製品の修理/部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があり、使用上差しつかえのない範囲で色や仕様が若干異なる部品を使用することがありますので、あらかじめご了承ください。